

## 2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
35204	ハングルの理解 Understanding Korean	木村淑		後期	1	選択	1.2後期

## 科目の概要

韓国語の文字（ハングル）及び、基礎文法を学修する事によって、自己紹介と簡単な日常会話ができるようにするのを目標にする。韓国語を修得する際に難しく思いがちな発音や単語を日本語と比較しながら勉強する事で、両国の言葉の類似点、相違点を気づかせ韓国語の理解力を高める。「読む、書く、聞く、話す」ことをバランス良く入れ、コミュニケーション能力を高め、韓国の生きた文化や生活習慣に触れ、韓国語の理解を深めることを目指す。

学修内容	到達目標
① ハングルの文字を習得する。 ② <b>해요</b> 体を習得する。 ③ 否定形を習得する。 ④ 過去形を習得する。 ⑤ 動作の目的や仮定、計画の形容詞の連体形表現を習得する。	① ハングルで単語を表記することができる。 ② 日常会話の表現が広がることことができる。 ③ 韓国語の表現を更に向上することができる。 ④ 日記を書くことができる。 ⑤ 会話の表現を工夫して伝えることができる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	韓国語の読み、書き、聞きを達成という目標に向かって自ら積極的に教科書や音声を聞きながら、自己学習に取り組むことができる。
	働きかけ力	コミュニケーション能力を高めるため、他者に声掛けをして韓国語の会話練習に取り組むことができる。
	実行力	韓国語で日常会話を言えるように文法や発音を繰り返し練習し最後までやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	韓国語の学習の上で、自分で課題を見つけ改善を図ることができる。
	計画力	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の準備や課題を、期間守りやり遂げることができる。</li> <li>グループ内での役割分担、手順を順序よく進めることができる。</li> </ul>
	創造力	日本語との語順の類似性を生かして、自ら韓国語で文章を考えることができる。
チームで働く力	発信力	自己紹介や韓国語の作文を、聞き手に分かりやすい発表の仕方や話すポイントが整理されて発表することができる。
	傾聴力	他者の発表やグループワークの中で他者の意見をしっかりと傾聴して、コミュニケーションを楽しむことができる。
	柔軟性	韓国語の学習を通じて、隣国の異なる文化や思想を持つ人々の気持ちを理解することができる。
	情況把握力	自分に割り当たられたことだけではなく、グループで、自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

## テキスト及び参考文献

テキスト：「ひかりとジフのどきどき韓国語」都恩珍監修／李正子・金昭鎭著 朝日出版社 2,640円（税込）

## 他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「韓国語会話」  
資格との関連：なし

## 学修上の助言

日本語と語順が類似しているため、各単元の単語をしっかりと暗記することで、韓国語が話せるようになります。話せるようになることさらに韓国語に興味を持って、楽しく学ぶ事が出来ます。

## 受講生とのルール

- 授業中、携帯電話は電源を切り、カバンに入れておくこと。
- 出された課題は積極的に取り組む。
- グループワークに積極的に参加すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	30	①	①後期に実施した小テストやプリントを中心に、授業で学習した内容の理解度を確認する ②授業で発表した自己紹介についての筆記試験を行う	
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	平常評価	小テスト	30	①	小テストは、単語と表現の読み書きを中心に出题する ・場合によっては聞き取りテストも行う ・出題範囲は前回の授業で学習した内容とする ・返却されたテストで間違えた問題をテスト用紙に正しく書き直して、再提出する ・すべての小テストの点数の平均点を基準に、成績評価に反映する ・欠席届を提出した学生と、先生に申し出た学生は次の授業前、又は授業後に小テストを受けること ・無断で欠席した学生は小テストを受けることができず0点になる可能性がある
				②	
				③	
				④	
				⑤	
		レポート	15	①	課題は①返却されたテストの間違えた問題を再度間違いのないよう解いて提出する ②学習状況に合わせた作文を提出する。 ・学習状況によっては、上記に加え、テキストの各単元の単語と練習問題を解いて提出する場合がある ・間違いがある場合、指示通りにやれてない場合は再提出となる ・間違いを直せず再提出が多い場合は、レポート評価が下がる可能性があるので必ず提出前に自身で見直しをすること
				②	
				③	
				④	
				⑤	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	15	①	①テキストの本文をペアで口頭発表し、以下の点を基準に評価する（5点） ・暗記して発表すること ・正しい発音で発表すること ・個人ではなく、ペアの評価で点数がつく ②「韓国語でアイドルの歌を発表」グループで歌唱、又は朗読し、以下の点を基準に評価する（5点） ・韓国語の歌詞を正しい発音で発表すること ・歌唱か朗読かはグループで決める ・個人ではなく、グループ全体の評価で点数がつく ③自己紹介の口頭発表を行い、以下の項目を基準に点数をつける（5点） ・正しく暗記して発表出来るか ・正しい発音で発表出来るか		
		②			
		③			
		④			
		⑤			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	(主体性) ・語学力を身につけるために、自ら予習、復習をすることができる。 (実行力) ・授業で学習したことを日常的な場面で意欲的に取り入れる。 (課題発見力) ・様々な場面で使える表現を意識し、意欲的に取り組むことができる。 (創造力) ・課題に対して、学修した文法や単語を応用して、表現することができる。 (発信力) ・聞き手に分かりやすく、自ら考え工夫して発表する。 (傾聴力) ・話し手の話を聞き、しっかり聞くことができる。 (規律性) 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②		
			③		
			④		
			⑤		
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀) 期末試験、小テストが90%以上であり、レポートの提出、授業中の態度、発表、グループワーク活動が優れている。  A(優) 期末試験、小テストが89%～80%以上であり、レポートの提出、授業中の態度、発表、グループワーク活動に積極的に参加できる。	B(良) 期末試験、小テストが79～70%以上であり、授業中の態度、発表、グループワーク活動に意欲的に参加できる。  C(可) 期末試験、小テストが69～60%以上であり、授業中の態度が良好で、用言の해요体、否定形、過去形の読み書きができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション ・授業の進め方や取り組み方 ・母音、子音(平音)を学ぶ。(前期の学習内容を復習)	講義 演習 発音練習 質疑応答にてフィードバックする	パングルの仕組みを理解できる。 授業で使う挨拶ができる。 母音を読むことができる。	(復習)母音、子音の読み書きができるように復習する(40分) (予習)激音、濃音を音読する(20分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
2	激音、濃音を学ぶ。(前期の学習内容の復習)	講義 発音練習 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 質疑応答にてフィードバックする	激音、濃音の読むことができる。	(復習)激音、濃音の読み書き繰り返し練習して、単語を読めるようにする。(40分) (予習)パッチム、合成母音を音読する。(20分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
3	パッチム、合成母音を学ぶ。(前期の学習内容の復習)	講義 発音練習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) グループワークのため、グループを決める 質疑応答にてフィードバックする	パッチムと合成母音を読むことができる。	(復習)パッチムと合成母音を復習する。(50分) (予習)歌の発表に向けて、歌詞を読んでおく。(20分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
4	・平音、激音、濃音、パッチムの総復習 ・韓国語の歌発表の練習	講義 発音練習 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 質疑応答にてフィードバックする	パッチムのある単語を正しく読むことができる。 韓国語の歌詞を読むことができる。	(復習)文字の発音を確かめて、音読する。(30分) (予習)・文法編の1課の本文を音読と単語を覚える。(20分) ・アイドルの歌の発表を準備する。(20分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
5	文法編 第1課 私の名前は天野ひかりです。 ①「～は」 ②「～です」を学ぶ。 歌を韓国語で発表する。	講義 演習 発音練習 発表 質疑応答にてフィードバックする	自己紹介で自分の趣味を言うことができる。 歌詞を正しく発音することができる。	(復習)「名詞+は+です」という表現を組み合わせて言えるように復習する。(40分) (予習)文法編 2課の単語を覚えておく。(20分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
6	文法編 第2課 これはすき焼きですか? ①「～ですか」 ②「～ではありません」 ③「～も」を学ぶ。 名詞の疑問詞を使って質問したり、質問に対する返事ができるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 質疑応答にてフィードバックする。	名詞の疑問詞を使って質問したり、相手の質問に対して否定文で返事をするができる。	(復習)授業で学習した名詞の疑問詞、否定文の表現を言えるように復習しておく。(40分) (予習)3課の単語を覚えておく。(20分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
7	文法編 第3課 ここは昌徳宮です。 ①「～が」 ②「～は何ですか?」 ③「～と」を学ぶ。 「何ですか?」に対する、答えができるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 質疑応答にてフィードバックする	「～は何ですか?」の文章を使った質問と質問に対する返事をするができる。	(復習)授業で学習した「～はなんですか?」の表現に対する答えが言えるように復習する。(40分) (予習)4課の単語を覚える。(20分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
8	文法編 第4課 週末に何をしますか? ①합니다体「～です・ます」 ②「～に・へ」 週末に何をするのか、質問したり、答えができるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 質疑応答にてフィードバックする	週末に何をするのか、質問したり、答えができる。	(復習)文法事項を復習する。(40分) (予習)5課の単語を覚える。(20分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	文法編 第5課 どこに行きたいですか? ① 합니다体Ⅱ ②～「～たい」 ③～「～で」を学ぶ。 「～したい」という希望をいうことができるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 質疑応答にてフィードバックする	「～したい」という希望をいうことができる。	(復習)授業で学習した「～したい」の表現を覚えて、言えるように音読する。(40分) (予習)6課の単語を覚えておく。(20分)	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
10	文法編 第6課 はじめまして。 ①「(今から)～する」 ②「～のために」 ③「～だが」を学ぶ。 意志表現と自己紹介が出来ることを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 質疑応答にてフィードバックする	自分の意志表現が出来る。	(復習)文法事項を復習する。(40分) (予習)7課の単語を覚える。(20分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
11	1課から、6課まで総復習	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 質疑応答にてフィードバックする	1課から6課までの文法を理解して、自己紹介が出来る。	(復習)1課から、6課までの文法を復習する。(40分) (予習)7課の単語を予習しておく。(20分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
12	文法編 第7課 何に興味がありますか? ①해요体Ⅰ「～です/ます」 ②～합니다体の해요体「～です」 ③～부터「～から」を学ぶ。 해요体について学び、用言を中心に新しい単語を覚えるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 質疑応答にてフィードバックする	합니다体と해요体を言うことができる。 前回まで学んだ過去形をはじめとする文法を正しく理解して、発表出来る。	(復習)hamnida体とheyo体の読み、書きを練習する。heyo体を言えるように繰り返し音読する。(20分)  (予習)8課の単語を覚える。自己紹介発表の準備をする。(30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
13	文法編 第8課 このバス、北村に行きますか? ①해요体Ⅱ ②～(으)나「～や」 ③안 + 用言「～ない」を学ぶ。 否定形をマスターして韓国語の表現範囲を広げられるようになることを目的とする。 自己紹介を発表する。	講義 演習 発表 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 質疑応答にてフィードバックする。	heyo体を言うことができる。 否定形を言うことができる。 自己紹介が出来る。	(復習)heyo体と否定形を繰り返し練習し、読み、書きができるようにする。heyo体と否定形を繰り返し音読する。(40分) (予習)9課の単語を覚える。(20分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
14	文法編 第9課 昨日ジフさんと北漢山に行った。 ①～았/었/였다「～た」 過去形Ⅰ ②～아/어 /여서「～て、ので」原因 ③～고「～で、て」並列を学ぶ。 過去形を言えるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 質疑応答にてフィードバックする	過去形を言うことができる。 原因の結果の文章を作ることができる。 並列の文章を作ることができる。	(復習)過去形を言えるように復習する。(40分) (予習)過去形を使って日記を書く。(30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
15	文法編 第10課 トムヤンクンを食べに行きます。 ①～(으)러「～しに(行く/来る)」 ②～(으)면「～れば、なら、たら」 ③～(으)려고 하다「～しようと思う」を学ぶ。 動作の目的や仮定、計画を立てる文章を作るようになることを目的とする。	講義 発表 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 質疑応答にてフィードバックする	計画を立てる文を作ることができる。	文法の総復習をする。(60分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力